

第 22 回京都府産業廃棄物減量・推進ネットワーク協議会

議事要旨

- 1 日時 令和元年 8 月 2 日（金） 午前 10 時～12 時 00 分
- 2 場所 京都ガーデンパレス 橋の間
- 3 概要
産業廃棄物税使途事業の実施状況について報告を行うとともに、今後の事業の進め方等について、各委員から意見を聴取した。
- 4 内容
 - (1) 開会
 - ・大谷府民環境部長より挨拶
 - (2) 議事
 - ・議題 1 「産業廃棄物税使途事業の実施状況」について
 - ・議題 2 「今後の事業の進め方」について
- 5 委員から頂いた主な意見
 - ・ 廃棄物管理は、リサイクルよりも保管場所に搬入される量（廃棄物の排出量）をいかに減らすかが重要。有価物になっている物も買ったときより安くしか売れず、意図して生産された物ではない。
 - ・ 廃プラスチックごみの処理が滞っているのであれば、排出量自体を減らすしかない。発生した廃棄物をどうするかではなく、排出量そのものを減らすことが本質であり、そこに産廃税の税収を投入できないか。
 - ・ RPF を作った後の受け皿が広がらないと、固形燃料化施設へのプラスチックごみの受入量を増やすにはリスクがある。RPF の受け皿の拡大に対して、何らかの補助等支援があればよい。
 - ・ 今後の産業廃棄物処理を担う人材の育成が重要。3R カウンセラーにスキルアップしてもらい、有効活用していければよい。